

生コン業界における労働災害防止に向けて

茨城労働局安全専門官が講演

令和6年7月18日

茨城労働局健康安全課では、令和6年7月18日（木）に、茨城県コンクリート工業組合が主催する「令和6年度全国統一品質管理監査説明会」において、安全講演（担当：吉成安全専門官）を実施しました。

安全講演では、茨城県内の労働災害の発生状況及び労働災害防止対策、熱中症対策、転倒災害防止対策・職場で実践する健康体操（増加している転倒災害の防止対策の一環として、労働者自身の身体づくりを推進するため、茨城ロボットのコーチの考案で約3分半の健康体操の動画を作成し、公開しています。職場の朝礼等で日常的に取り入れてもらうことを目的としています）等の周知・説明等を行いました。

このほか、吉成安全専門官は、『心理学に正常性バイアスというものがあります。人間は異常事態等に遭遇した時に、「自分は死なない」「いつも大丈夫」等の自分にとって不都合な情報を過小評価する傾向があります。これまでの対策に加えて、正常性バイアスを考慮した安全管理が大事です。』と呼びかけていました。



講演を行なう吉成安全専門官（右側）

【問合せ先】茨城労働局健康安全課 電話029-224-6215